|                      |                    |                      |                          | 別紙様式:   |
|----------------------|--------------------|----------------------|--------------------------|---|
| 番号                   | 発行者の番号・略称          | 使用学年・分野              | 教科書の記号・番号                | 教科書名  |
| 点                    | 17・教出              | 第1~3学年               | 器楽 017-72                | 中学器楽 音楽のおくりもの   |
|                      |                    | は、目標を達成す             | できるよう, 次の。               | ような学習活動が取り上   |
| 取扱内容                 |                    | 構造との関わり。<br>に付けたりする? |                          | のパートと合わせて演奏   |
| 学習指導<br>要領の総<br>則及び各 |                    | については,目标<br>なり上げられてい |                          | ができるよう, 次のよう  |
| 教科の目標,内容等            | ・曲の背景を理            |                      | =                        | かして,全体の構成を工   |
|                      |                    | 的で深い学びの<br>動が取り上げら   |                          | への対応については, 次  |
|                      | ・活動のポイン            |                      | 忍できるようにし                 | たり、動画コンテンツで   |
| 内容の<br>構成・<br>排列,    | ・篠笛の演奏に            | おいて,一人で加             |                          | がなされている。<br>あとに, 学習した曲を重<br>的に学習できる工夫                   |
| 分量等                  |                    |                      |                          | ジ,その他は 20 ページ<br>7 %増となっている。                            |
| 使用上の                 |                    |                      | □学生になじみのま<br>工夫がなされてい    | ある旋律を示したりするる。   |
| 配慮等                  |                    | するなど,主体的             |                          | 役階的に身に付く演奏の<br>いことができるような工                              |
|                      | ザインに配慮し            | たり(全学年)でリンク(二次:      | するとともに, 1)               | カラーユニバーサルデ<br>人1台端末を活用した学<br>する(全学年)など,使                |
| 指導上の                 | や伝統について            | ご調べるコーナー<br>イヌや宗谷のア  | が設定されており                 | 景と形の関係等から文化<br>,その中でアイヌ民族に<br>「トンコリ」を演奏する               |
| 配慮等                  | 頭やページに撂<br>各楽器の奏法や | 最載された二次元             | コードから「まな<br>器のカテゴリーご     | した学習活動として,巻<br>びリンク」につながり,<br>とに多数掲載され,学習               |
|                      | 一の共通点や相            | 違点について運              |                          | - ダーとアルトリコーダ<br>などして理解を促した<br>れている。                     |
|                      | 創意工夫するこ<br>いる曲を器楽で | とができるよう<br>表現活動が可能   | , 歌唱, 創作, 鑑賞<br>なように配慮され | りしながら,器楽表現を<br>賞の教材として扱われて<br>ているほか,キャラクタ<br>トなどの具体的な内容 |

| 本市生徒の  | を示したり,「表現の仕方を調べてみよう」で気付いた楽器の特徴や自分が着目したことを交流したりするなど,学びを深める工夫がなされている。   |
|--------|---|
| 学習の状況等 | ○ 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを捉えて表現する力を育むことができるよう、「音のスケッチ」に楽器の響きを生かして創作する活動が設定されているほか、楽器の背景にある文化や伝統について調べる活動が設定されており、音楽のもつ多様なよさを感じ取ることができるよう工夫がなされている。 |
| その他    |   |

|             |                     |                        |                       | 別紙様式  |
|-------------|---------------------|------------------------|-----------------------|---|
| 番号          | 発行者の番号・略称           | 使用学年・分野                | 教科書の記号・番号             | 教科書名  |
| 点           | 27・教芸               | 第1~3学年                 | 器楽 027-72             | 中学生の器楽                                      |
| 取扱内容        | ○ 器楽について<br>げられている。 | は,目標を達成                | できるよう, 次の。            | ような学習活動が取り上                                 |
| 学習指導        |                     | を理解したり, /る技能を身に付け      |                       | う音色や強弱を工夫して                                 |
| 要領の総則及び各    |                     | については, 目標<br>なり上げられてい  |                       | ぶできるよう,次のよう                                 |
| 教科の目標,内容等   | ・音色や音の重             |                        | 理解したり、音色を             | を考えながら楽器の組み                                 |
| 7           |                     | 的で深い学びの<br>動が取り上げら     |                       | への対応については, 次                                |
|             | ・「学びのコン             | パス」で学習の                |                       | ようにしたり, デジタル<br>て演奏する活動                     |
| 内容の         |                     |                        | ,次のような工夫<br>の違いを学習した? | がなされている。<br>あとに,奏法の違いを生                     |
| 構成 ·<br>排列, | かして, 重奏<br>る工夫      | で演奏できるよ                | うにするなど、系統             | 統的・発展的に学習でき                                 |
| 分量等         | 〇 内容の分量に            | こついては,表現               | (器楽) は85ペー            | ジ,その他は 21 ページ                               |
|             | であり,総ペー             | -ジは 106 ページ            | で、前回とほぼ同              | 様となっている。                                    |
| 使用上の        |                     |                        | たり,同世代の音導<br>夫がなされている | 終活動を示したりするな<br>。                            |
| 配慮等         |                     | るなど,主体的に               |                       | したり,考えたいポイン<br>ことができるような工夫                  |
|             | たり (全学年)            | するとともに,                | 1人1台端末を活              | 色覚特性への配慮をし<br>用した学習活動として,<br>の便宜が図られている。    |
| 指導上の        | つとして, 江差            |                        | 子舞」の写真,曲              | る郷土の祭りや芸能の一<br>の誕生が七飯町である                   |
| 配慮等         | らウェブサイト             | 、につながり,各               | 曲の伴奏や各演奏              | 載された 2 次元コードか<br>家のプロフィール, 創作<br>よう工夫がなされてい |
|             | ーの共通点や相             |                        | 指と音を比較する              | - ダーとアルトリコーダ<br>などして理解を促すこ                  |
| 本市生徒の       | 創意工夫するこ             | ことができるよう               | , コラムや「Q&.            | りしながら,器楽表現を<br>A」, キャラクターの吹                 |
| 会 型 小 小 小 母 | ンパス」で、曲             | や演奏に対する                | 自分の考えをもつ。             | ているほか、「学びのコとともに、友達との意見                      |
| 学習の状況等      | 文価を進しく字             | <u>- いを保めること</u><br>器楽 | ができる工夫がな              | G11 (1,0°                                   |

|     | ○ 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを捉えて表現する力を育むことができるよう、「My Melody」で課題や条件に沿ってまとまりのある旋律をつくる活動が設定されているほか、生活や社会とのつながりを考えたり、専門家のメッセージから、表現に対する自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう工夫がなされている。 |
|-----|---|
| その他 |   |